

リース遠征隊 ガルフピッゲンの夢

ドキュメンタリー映画

上映会 & トークセッション

トークゲスト Jeppe Ravn Arne Bangsgaard Mathiasen Mathias Klok

主催：DSSA プロジェクト（代表 深澤 理恵子）

共催：With You（前向きな障害者と仲間達）（会長 佐藤 厚子）

後援：デンマーク大使館

この映画では、ガルフピッゲン山登頂までの計画、資金調達、準備、介助とチームで行った一連の記録が約40分の映像に収められています。



難病を抱える青年ヤコブリースは山に登る夢を描き、友人のデニス・ハンセンとアーネ・マチャセンに手を貸してもらえないかと尋ねました。話に乗った二人は早速計画を立て始め、

ヤコブの夢を叶えるため 六人の若者が立ち上がりました。

Jacob Riis (ヤコブリース) 24歳

2008年15歳の若さで急速に進行する脳萎縮性の疾患、マチャド・ジョセフ病と診断される。それまでは、プロのサッカー選手を夢見る、活動的でごく一般的な少年だった。診断から6年経過した遠征時には、車椅子で生活し、発話やえん下障がいもあり終日介助が必要となる。それでもヤコブは前向きで、人生に対し熱意を持ち続け、筋力や体力維持のためのトレーニングを積極的に努める。特にアウトドアに情熱を注ぎ、自然の中で過ごす事で肉体的・精神的な挑戦を続け、それを誇りとしている。学校のアドベンチャーコースで学ぶ事で、今回のガルフピッゲン山登頂の夢へと繋がった。



主催者 Rieko Fukazawa Kornum

(DSSAプロジェクト代表・エグモントホイスコーレン教員)



北海道札幌市出身。1997年にデンマークにある障害者と健常者が共に学ぶエグモントホイスコーレンに留学し、卒業後はデンマーク人と結婚、15歳になる息子がいる。2001年からデンマークのデザイン会社でカスタマーコンサルタントとして8年間勤務し、その後母校であるエグモントホイスコーレンに現在も勤務中。障害者のための性指導員養成コースで2年間講習を受け、日本人で初めて性指導員となる。エグモント教員をしながら、毎年日本各地で講演会等を実施。この度初めて、念願だった出身地である札幌で講演会を実施する運びとなる。

開催概要

日時：2018年7月16日(月・祝)
開場 13:30 開演 14:00 終了 16:00

会場：北海道立総合体育センター
(北海きたえーる) 講堂・視聴覚室
札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1

札幌

豊平公園

北海道立
総合体育センター
北海きたえーる

札幌市営地下鉄
東豊線

地下連絡通路
(徒歩4分)

*お席に限りがございますので、お早めにお越しください。

料金：大人 1000円
子供(中学生以下) 500円
障害者・65歳以上の高齢者 500円
(介助者は一人まで無料)

お問い合わせ：DSSA プロジェクト
contact@egmonty.com